

救急救命処置の先行的な実証

吉備中央町

救急救命士の役割拡大やDXによる救急体制の充実

地域課題

- 町内に高次救急病院がなく、救急や夜間の小児科受診など、町外の病院搬送まで時間を要する。
- 時間を要する搬送では、病院到着の際に急変し、転院搬送が発生することも多い。

早期治療着手の実現

- 救急救命士によるエコー検査を可能とすることで、搬送中の情報収集を行う。
- 救急車内のDX化により、患者の生体情報等のデータを医療機関に伝送。

【最近の取組：先端的サービスの開発・構築等に関する調査事業】

事業概要



救急搬送にて、救急救命士が収集した患者情報や医師からの指示等を伝送するシステムの運用について、実証し、その有効性等を臨床・業務・技術の面から検証する。



病院搬送後の重症患者の検体検査結果・読影コメントについて、仮想電子カルテと医師の手元のタブレット端末のデータ連携を実証する。

検証結果



通信電波の状況など懸念事項はあるものの、実証参加者からは、全体的に高い評価を受け、本システムの有効性や事業への大きな期待感を感じた。

実証風景



統合ビューア

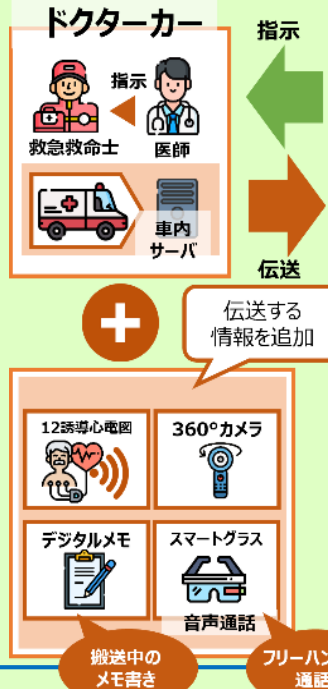
先端的サービスの開発・構築等に関する調査事業（詳細）

調査事業

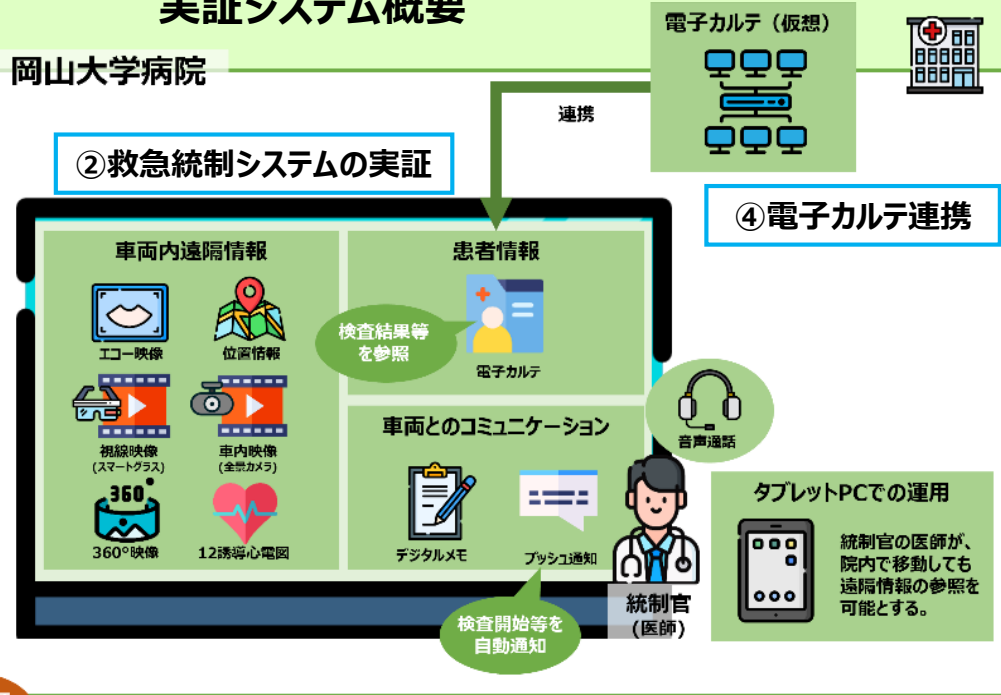


- ① 救急搬送車両からの付加情報を含む伝送の実証
- ② 救急統制システムの実証
- ③ デジタルデバイス使用のシミュレーション教育の検証
- ④ 電子カルテ（仮想）との連携の実証
- ⑤ 情報プラットフォームの検討・構築・実証

① 情報伝送の実証



実証システム概要



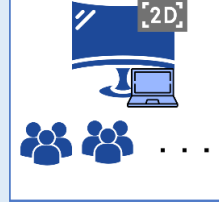
⑤ 情報プラットフォームの検討・構築・実証

③ デジタルデバイス使用のシミュレーション教育の検証

教育コンテンツ視聴



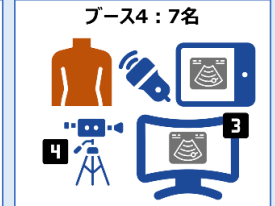
2D視聴：14名



ワークショップ：VR視聴14名



ワークショップ：2D視聴14名



VRアニメーション＋手技動画：

<https://youtu.be/KuzywUnY7p8>



2Dアニメーション＋手技動画：

<https://youtu.be/IEld60i0uvM>